

県議会おがく



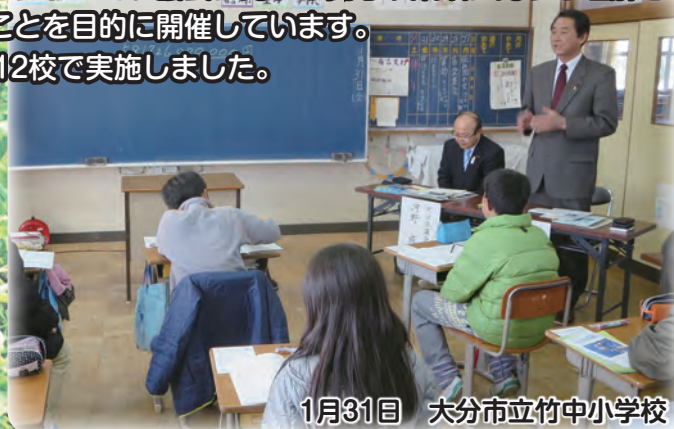
1月21日 別府市立鶴見小学校

議員出前講座を開催しました。

議員が講師となり、県内の小中高等学校、大学等を訪問し、県議会の仕組みや役割、議員の活動などについてわかりやすく説明し、意見交換することによって、議会に対する関心や県政に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しています。平成25年度は12校で実施しました。



1月28日 日出町立大神小学校



1月31日 大分市立竹中小学校

目次

- ▶ 就任ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・ 1
- ▶ 平成26年 第1回定例会・・・・・・・・・・ 2
- ▶ 新たに構成された委員会・・・・・・・・・・ 4
- ▶ トピックス・県議会今後の動き・・・・・・ 6

就任ごあいさつ



大分県議会副議長
桜木 博

県民の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、先の第1回定例会県議会におきまして、副議長という大役を仰せつかり、このうえない光栄でありますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いをしております。

本県では、子どもから高齢者まで全ての県民が、安心・安全で、夢と希望にあふれる大分県の創造を目指して、様々な課題に取り組んでおります。

特に、少子高齢化対策、高速交通体系の整備、さらには南海トラフ巨大地震対策などが喫緊の課題だと考えております。

県議会といたしましては、県民の声に真摯に耳を傾けて、県民の声を県政に反映させるよう、より一層、政策立案機能の強化と執行機関へのチェック機能の充実など、地方議会のあるべき姿である二元代表制としての充実強化を図ってまいります。

また、県民にとって身近で分かりやすい県議会を実現するために、出前県議会の開催などを通じて、開かれた県議会の実現を目指してまいります。

今後とも、議長の補佐役として、公正・円滑な議会運営はもとより、県議会の活性化さらには大分県の発展のために、誠心誠意努力してまいりますので、皆様の御理解と御協力を心からお願ひ申し上げます。

平成26年
第1回定例会

2月26日から3月27日までの会
期30日間で開催しました。

開会后、近藤議長による諸般の
報告に続き、景気・雇用対策、安心・
活力・発展プランの仕上げ、新た
な政策展開の三点に重点を置いた
平成26年度大分県一般会計予算案
など、議案52件が提出され、広瀬
知事が提案理由を説明しました。

3月6日、7日に行われた代表
質問には4人の議員が、また、10
日から12日に行われた一般質問に
は、12人の議員が登場し、県政の
基本方針や地方分権などについて、
執行部と活発な議論を行いました。
各常任委員会は、3月5日、10
日、20日に開催し、付託された議
案等について慎重な審査を行いま
した。

閉会日の3月27日には、副議長
の辞任に伴う選挙が行われ、第94
代副議長に桜木博議員が選任され
ました。
今定例会では、知事提出議案73
件について可決・同意し、議員提
出議案8件を可決、請願1件を採
択、3件を不採択、3件を継続審
査としました。

会期中には、延べ366人の
方々が本会議や委員会を傍聴され
ました。

代表質問

3月6日(木)



自由民主党・無所属の会
末宗 秀雄 議員

- ▼県政運営
- ▼教育行政
- ▼農林水産業の振興
- ▼中小企業の振興
- ▼大分トリニータ

ほか

県政の基本方針



3期目県政の最終年度に臨
む知事の基本方針は。



26年度の県政の基本方針は、
第一に、景気・雇用対策で
ある。国の経済対策を積極的に受
け入れ、防災・減災対策や社会イ
ンフラの老朽化対策を進める。ま
た、消費税率引き上げに伴う景気
の腰折れを防ぐため、商工会等が
行うプレミアム付き商品券の発行
支援や、雇用対策の拡充により新
規雇用を創出する。

第二は、安心・活力・発展プラ
ンの実質的な仕上げである。安心
の分野では、子育て満足度日本一
の実現や、高齢者の元気づくり、
障がい者の就労促進、小規模集落

対策の強化、豊かな水環境の創出
にも取り組む。

活力の分野では、農林水産業の
構造改革の推進、中小企業への支
援、女性の就労支援などに取り組
み、おんせん県おおいたによる
ツーリズム戦略も展開する。

発展の分野では、将来を担う人
材育成に力を入れるとともに、県
立美術館の開館や東九州自動車道
の26年度共用開始に向けた準備を
進める。

第三は、25年度に実施した県民
アンケート調査や中期県勢シユ
ミレーションの結果も踏まえた、
新たな政策展開である。

こうした3つの柱の下、着実な
仕上げと更なる発展に向けた新た
な政策展開の検討を進めていく。



県民クラブ
玉田 輝義 議員

- ▼憲法
- ▼教育委員会制度
- ▼人口減少社会と地方分権
- ▼ワーク・ライフ・バランス
- ▼再生可能エネルギー

ほか

地方分権



人口減少社会を迎える中、
地方分権はどのような地域
社会を目指そうとするのか。



医療や介護の持続可能性、
労働力の減少、過疎化の進
行など広範な分野で増大している
行政課題を解決するには、地域自
らの創意工夫により、産業を振興
し、地域活性化を進め、活力ある
経済圏を創出できる地方分権型社
会の実現が不可欠と考える。

県民福祉の二層の向上と県全体の
活性化を第一に、権限の委譲、国に
よる規制の緩和、税財源の充実強
化を求め、地域の声に真摯に耳を
傾け、県と市町村が共に行政運営
能力を高め合いながら、県民の皆
様が住んで良かったと実感できる大
分県づくりに取り組んでいく。

3月7日(金)



自由民主党
佐々木 敏夫 議員

- ▼四国との航路
- ▼地域の将来像
- ▼地域牽引企業
- ▼全国学力テスト

地域牽引企業



地域牽引企業(県経済や業
界を先頭に立ってリードし
ていける地場中小企業)の創出に
向けての方針は。

答 企業の成長性や経営者の意欲を見極め、企業の課題に応じて、複数年にわたる総合的な支援をしていく。

また、市場調査をはじめ、人材確保や商品開発、生産設備導入、販路開拓まで、各企業ごとに外部専門家を交えたサポートチームを編成し、きめ細かく支援を行う。製造業はもとより、商業・サービス業などの幅広い分野で、地域牽引企業を創出し、地域に新たな雇用や産業活力を生み出していく。



公明党
河野 成司 議員

- ▼近隣諸国との交流
 - ▼女性の登用
 - ▼少子化対策
 - ▼県有施設の整備
 - ▼自然環境・景観の保全
- ほか

少子化対策

問 人口減少を見据えた上で、「子育て満足度日本一」という目標達成度をどう評価しているのか、少子化対策としての事業効果の検証も踏まえて伺う。

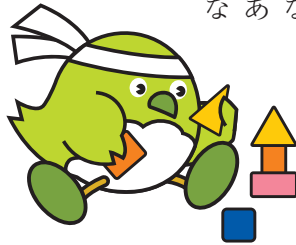
答 本県では、「子育て満足度日本一」を掲げ、子育て世帯の経済的負担の軽減や、保育所の充実など地域で子育てしやすい

体制づくりを進め、男性の家事や育児への参加などに取り組んだことにより、一定の評価をいただいている。

このほか、企業誘致や産業の集積等により経済の土俵を大きくし、人口の流入、定着を図り、UJITタインの推進、ワーク・ライフ・バランスの促進などにも取り組んできた。

このような取組は、人口減少の緩和に一定の効果があつたと考えているが、長期的には人口減少の大きな流れは変えられない状況である。

少子化対策や人口減少社会への対応は、重要な論点の一つであり、施策につながる議論を重ねていく。



一般質問

3月10日(月)



県民クラブ
守永 信幸 議員

- ▼防災学習
 - ▼障がい者の暮らしやすい社会づくり
- ほか



自由民主党・無所属の会
桜木 博 議員

- ▼中津日田道路
 - ▼県有施設の使用料等
- ほか



県民クラブ
小嶋 秀行 議員

- ▼防災・減災対策
 - ▼交通安全協会
- ほか



自由民主党・無所属の会
濱田 洋 議員

- ▼長期総合計画
 - ▼畜産振興
- ほか

3月11日(火)



日本共産党
堤 栄三 議員

- ▼教育問題
 - ▼介護保険制度
- ほか



県民クラブ
平岩 純子 議員

- ▼教職員の人事異動
 - ▼児童養護施設の課題
- ほか



自由民主党・無所属の会
毛利 正徳 議員

- ▼介護保険制度
 - ▼中津港の整備
- ほか



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

- ▼人口減少対策
 - ▼国道10号日野原中判田間
- ほか

3月12日(水)



自由民主党・無所属の会
嶋 幸一 議員

- ▼海外戦略
 - ▼建築物の耐震化
- ほか



自由民主党
吉富 幸吉 議員

- ▼少子化対策
 - ▼中心市街地の活性化
- ほか



県民クラブ
馬場 林 議員

- ▼子どもの貧困対策
 - ▼林業振興
- ほか



自由民主党・無所属の会
志村 学 議員

- ▼平成26年度当初予算の執行
 - ▼第二国土軸の実現
- ほか

海外戦略の改定



3年間の海外戦略の成果と課題は。また、改定後の海外戦略はどのような点に力を入れているのか。



平成23年5月に大分県海外戦略を策定し、半導体のビジネス交流、県産品の輸出、観光客の大幅な増加など、一定の成果があった。また、海外で高まる「和食」等に対する需要をいかに取り込んでいくか、存在感を高めてきたアセアン諸国へのアプローチ、企業の海外展開マインドの醸成など課題が見えてきた。

このため、戦略の改定では、農林水産物・加工品の輸出拡大、ビジネスの交流を通じた海外展開の促進、インバウンドの強化の3つを重点的に取り組んでいく。

今回、改定した海外戦略を着実に推進し、「アジアに開かれた、飛躍する大分県」を目指す。

林業振興



県産材の国内外への販売状況を踏まえ、どのような課題があるのか。また、中津日田道路の開通は、本県の林業振興にどのような効果をもたらすのか。



林業振興は大変重要な産業であり、生産力の強化、加工体制の整備、木材需要の拡大な

ど総合的な対策に取り組んだ結果、素材生産量の増加など着実に成果をあげている。しかし、輸入材に対する競争力を高めるためには、さらに一歩先を見据えた大分県林業とすることが肝要である。

そのためには、生産・加工の低コスト化、需要の拡大、流通の効率化が必要である。

主要な木材産地を貫き、中津港に至る中津日田道路がつながれば、輸送時間が大幅に短縮され、船舶による大量出荷が可能となる。併せて北九州や本州向けのトラック輸送も促進される。また、海外輸出の拡大も期待できる。

円安等による国産材回帰の流れができてきた今こそ、需要者ニーズに対応した県産材の安定供給体制を確立し、さらなる林業の構造改革を進め振興を図っていく。

可決された議案(議員提出)

● 条例関係 (1件)

▽大分県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部改正について

● 意見書 (7件)

▽景観や環境と調和した再生可能エネルギーの推進を求める意見書

▽米政策と経営所得安定対策の見直しに対する意見書

▽東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取組への支援を求める意見書

▽災害時多目的船の導入を求める意見書

▽消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

▽微小粒子状物質(PM_{2.5})に係る総合的な対策の推進を求める意見書

▽食の安全・安心の確立を求める意見書

採択された請願(1件)

▽だれもが安心して暮らせる大分県条例の制定について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認等された議案等(知事提出)

● 予算関係 (31件)

▽平成26年度大分県一般会計予算 ほか

● 条例関係 (29件)

▽大分県農地中間管理事業等推進基金条例の制定について ほか

● 人事関係 (1件)

▽監査委員の選任について

● その他 (12件)

▽平成26年度における農林水産関係事業に要する経費の市町村負担について ほか

平成26年3月27日、会派の名称変更がありました。

(旧) 自由民主党・無所属の会

(新) 自由民主党大分県議員団



新たに構成された委員会

◆ 議会運営委員会

(議会運営に関する事項、会議規則や委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を協議します。)

委員長
副委員長

志村 成学 河野 英司 阿部 義一 後藤 幸一 嶋 公一 三浦 栄作 三浦 正臣 麻生 信幸 守永 栄一 深津 隆一 首藤 隆憲 久原 和弘 佐々木 敏夫

(13人)

◆常任委員会

(本会議から付託された議案や請願の審査を行うとともに、担当する各部署に関する事項を調査します。)

総務企画委員会(7人)

委員長
吉岡 美智子
公明党

副委員長
濱田 洋
自由民主党大分県議員団

自由民主党大分県議員団
阿部 英仁

自由民主党大分県議員団
田中 利明

県民クラブ
酒井 喜親

県民クラブ
首藤 隆憲

自由民主党
佐々木 敏夫

委員長
馬場 林
県民クラブ

副委員長
堤 栄三
日本共産党

福祉保健生活環境委員会(8人)※1人欠員

自由民主党大分県議員団
志村 学

自由民主党大分県議員団
御手洗 吉生

自由民主党大分県議員団
井上 伸史

県民クラブ
原田 孝司

県民クラブ
深津 栄一

委員長
小嶋 秀行
県民クラブ

副委員長
三浦 正臣
県民クラブ

自由民主党大分県議員団
古手川 正治

自由民主党大分県議員団
嶋 幸一

自由民主党大分県議員団
衛藤 明和

県民クラブ
玉田 輝義

商工労働企業委員会(7人)

自由民主党
吉富 幸吉

委員長
土居 昌弘
自由民主党大分県議員団

副委員長
油布 勝秀
自由民主党大分県議員団

自由民主党大分県議員団
末宗 秀雄

自由民主党大分県議員団
近藤 和義

県民クラブ
守 永 信 幸

県民クラブ
久原 和 弘

自由民主党
元吉 俊 博

委員長
後藤 政 義
自由民主党大分県議員団

副委員長
毛利 正 徳
自由民主党大分県議員団

自由民主党大分県議員団
桜木 博

農林水産委員会(8人)※1人欠員

文教警察委員会(7人)

県民クラブ
藤田 正道

県民クラブ
江藤 清志

自由民主党
荒金 信生

公明党
河野 成司

委員長
竹内 小代美
自由民主党大分県議員団

副委員長
戸高 賢史
公明党

自由民主党大分県議員団
三浦 公

自由民主党大分県議員団
麻生 栄作

県民クラブ
尾島 保彦

県民クラブ
平岩 純子

県民クラブ
小野 弘利

トピックス

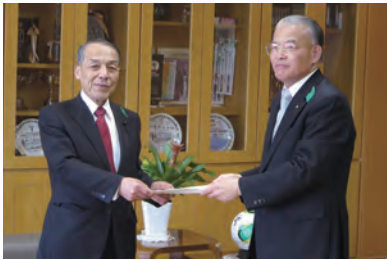
◎第81回 県議会56分勉強会

定例会会期中の3月11日、九重町の「鷲頭牧場」の鷲頭将治氏を講師にお招きし、「しあわせの価値観」と題して、ご自身が取り組まれている六次産業や地域振興活動について、ご講話いただきました。



◎平成25年度政策検討協議会の中間報告

県議会では、平成25年5月1日に「政策検討協議会」を設置して政策立案機能の強化に取り組んでいます。



3月24日、年度の終了にともない、近藤議長へ平成25年度の中間報告を行いました。

◎議員定数条例の一部改正

「大分県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」を一部改正しました。次回の一般選挙から施行されます。

△改正点①▽

平成22年国勢調査の結果、大分県人口の減少により県議会議員の定数を現在の44人から43人に、議員一人当たりの人口較差等を勘案して国東市・東国東郡選挙区の定数を2人から1人にそれぞれ改正しました。

△改正点②▽

公職選挙法（昭和25年法律第100号）の一部改正により、選挙区の単位が郡・市から市町村に改められたため、各選挙区の名称を以下のとおり改正しました。なお、選挙区の区割りの変更はありません。

- 旧名称 ↓ 新名称
- 「国東市・東国東郡」
- ↓ 「国東市・姫島村」
- 「速見郡」 ↓ 「日出町」
- 「玖珠郡」 ↓ 「九重町・玖珠町」

県議会 今後の動き

平成26年第2回定例会の日程（予定）

- 6月17日（火）開会
- 24日（火）～26日（木）
本会議（一般質問）
- 27日（金）常任委員会
- 7月2日（水）閉会

*** 県議会の情報公開 ***

- 県議会議員の資産等報告書などが閲覧できます。
 - ・閲覧できる報告書の種類…資産等補充報告書、所得等報告書、関連会社等報告書
 - ・閲覧できる人…県民（県の区域内に住所を有する者）
 - ・閲覧時間…午前9時～12時、午後1時～5時（土、日、祝日及び年末年始を除く）
 - ・閲覧場所及び問い合わせ先…県議会事務局総務課 電話097-506-5019 大分市大手町3丁目1-1（県庁舎新館1階）
- 政務活動費収支報告書などが閲覧できます。
 - ～平成25年度分の報告書は、6月30日（月）から公開予定です。～
 - ・閲覧できる報告書の種類…収支報告書、政務活動費の支出に係る会計帳簿等
※収支報告書は県議会ホームページでも公開します
 - ・閲覧できる人…どなたでも
 - ・閲覧時間…午前9時～12時、午後1時～5時（土、日、祝日及び年末年始を除く）
 - ・閲覧場所及び問い合わせ先…県議会事務局政策調査課 電話097-506-5032 大分市大手町3丁目1-1（県庁舎新館1階）

県議会ホームページでは・・・

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

～子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

- お問い合わせは 【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
- 県議会事務局 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
- 各課まで 【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など TEL 097-506-5035

テレビ広報番組のお知らせ
「県議会タイム」

OAB大分朝日放送
平成26年7月6日（日）
午後5時10分から

第2回定例会の概要や、各委員会の活動の様子を放送します。ぜひご覧ください。

広報誌「県議会おおいた」

は、大分県情報センター、地区情報コーナー（各振興局）、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店に配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版
「県議会おおいた」
のご案内

●本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで